

普及センターNews No.204

愛知県海部農林水産事務所農業改良普及課

住所 〒496-8532 津島市西柳原町1-14 (海部総合庁舎内)

電話 0567-55-7611(ダイヤルイン) FAX 0567-25-8943

E-mail ama-fukyu@pref.aichi.lg.jp

イチゴ・トマトの「スマート農業推進講演会」開催

7月21日、JAあいち海部本店会議室において、豊橋技術科学大学大学院工学研究科の高山教授を招き、スマート農業を推進するための講演会が開催されました。午前はイチゴ生産者45名が、午後はトマト・ミニトマト生産者11名が参加しました。講演では「ICT技術等の活用によるイチゴ・トマト生産技術の向上戦略」と題し、植物の光合成量をリアルタイムで計測して収量向上につなげる最新技術などについての話があり、生産者は熱心に聴き入っていました。また、農業総合試験場技術推進室担当者からは、最近のスマート農業の取組や農総試の試験研究成果が紹介されました。その後、具体的な管理方法など意見交換が行われ、スマート農業技術の導入に向けた有意義な講演会となりました。



講演する高山教授

ハス花のバラ受け共同選花で注文増加

『早尾紅蓮組合』は8月盆に向けて、特産のハス花を出荷しました。同組合では令和2年度から生産者が採花したハス花を出荷場に持ち寄り、共同で選花する「バラ受け選花」を開始しました。このため選別が改善され、市場評価が格段に高まりました。注分量は令和2年度と比較して約20%増加し、7月27日から8月10日まで計6回の出荷で、約20万本を関西方面の市場に出荷しました。



共同で選花されるハス花

農村生活アドバイザーが野菜ソムリエから学ぶ

7月20日にJAあいち海部北部営農センターにおいて、農村生活アドバイザー協会海部支部研修会が開催され、会員37名が参加しました。講演会では、地元の野菜ソムリエを講師に招き「野菜の健康効果と食べ方」についての講義を受け、様々な野菜の魅力について学びました。講演会終了後は、コロナ禍での農業経営の現状や問題点、対策について意見交換を行い、有意義な研修会となりました。



野菜ソムリエの講演を聴く参加者

海部管内で農作業事故発生！

農業機械は非常に便利な一方、適切に使用しなければ重大な事故につながります。令和3年7月には、海部管内で作業中の農業機械の横転による事故が発生しました。機械の正しい使用方法を今一度確認し、安全に作業を進めていただくようお願いします。

◆農作業事故防止のポイント◆

- ・機械や農具は定期的に点検し、正しい使用方法を確認する。
- ・家族や作業員にスケジュールを伝え、事故発生時の発見を早める。
- ・機械に巻き込まれにくい衣服、滑りにくい靴を着用する。
- ・ロータリーやカッターを点検する時は必ずエンジンを停止する。
- ・定期的に休憩時間を設け、疲労が蓄積しないようにする。



あいち農業経営相談所の紹介

農業者が抱える様々な経営課題に対処する「あいち農業経営相談所（以下、相談所）」がJA愛知中央会に設置されています。専門家の支援を受け、課題解決に取り組みたい方は、サテライト窓口（農業改良普及課）に、ご相談ください。

令和2年度、海部管内では10戸の農業者から相談があり、専門家を派遣して経営課題の解決に取り組みました。

○農業経営相談の流れ

①受付

相談カードに相談内容を記入し、サテライト窓口（農業改良普及課）に申し込み。

②経営診断

相談所から中小企業診断士または経営コンサルタントが派遣され、相談内容を確認し、経営診断、カルテ（経営戦略の策定）を作成。

③経営改善支援

経営戦略に基づき、必要な専門家を中心とした経営支援チームが派遣され、経営課題の解決に向けた改善を支援。

※専門家とは、弁護士・行政書士・公認会計士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士・経営コンサルタント・農業経営アドバイザー・デザイナーなどです。

※相談や専門家の派遣に係る費用は無料です。

あいち農業経営相談所のホームページはこちらから →
<http://www.aichi-n-sodanjo.jp/>

